

学校番号	学校名	校長名
20	川崎市立京町小学校	佐藤 茂樹

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<p>～ともに育ち ともに創る学校～</p> <p>○思いやりのある子</p> <p>○すすんで学ぶ子</p> <p>○自分で考え、行動する子</p>	<p>I 豊かになでふれあう学校</p> <p>II 学びを楽しむ学校</p> <p>III 健康で安心な学校</p> <p>IV ともに歩み、つながり合う学校</p>	<p>○一人ひとりに寄り添った児童理解の推進</p> <p>○認め合う心の育成</p> <p>○子どもの主体性を育む教育活動の推進</p> <p>○学習内容の定着と求められる資質能力の育成</p> <p>○健康や安全に対する意識の向上</p> <p>○事件事故への適切かつ迅速な対応</p> <p>○学校・家庭・地域との連携の推進</p>

評価項目	具体的な取組	重点項目◎ 成果 ◇と課題 ■	具体的な改善策
1	<p>I 豊かになでふれあう学校</p> <p>○一人ひとりに寄り添った児童理解の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の児童支援部会での情報共有 ・児童情報交換会の実施 ・学校生活アンケートの実施 <p>○認め合う心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利学習(子どもの権利に関する週間に実施) ・共生※共育プログラム年7回の実施 ・定期的な効果測定の実施 ・日々の子どもたちのコミュニケーションの充実 ・たてわり班活動等異学年交流の実施 ・行事等における感想交流の実施 	<p>◎一人ひとりの背景や状況をキャッチし、個に応じた支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学年の児童報告で継続して様子を記入することで変化がわかるようになった。 ◇毎月の情報交換では支援を要する児童の情報と共有し職員全体で見守り・指導・支援にあたる事ができた。 <p>◎一人ひとりのよさを認め、それぞれが活躍できる場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学年報告の中に児童のよいところを報告する項目を入れてことで職員が児童のよい部分を見ることが増えた。 <p>◎人権尊重教育を基盤とした、自分や相手を大切にすることの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分のよさや個性を大切にしたいという思いをもつ児童が多くなり。 <p>◎多様な人とのかかわりを大切にした教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇効果測定については児童支援部で取りまとめを行ったためより充実した。 ■効果測定の実行者は学年のみだったため、学校全体の把握が十分でなかった。 	<p>支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題行動等への対応だけでなく、児童の安心安全な学校生活の基盤についても考える。 ・個に応じた取り出し学習等をさらに充実させていく。 <p>児童指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員みんなが同じように指導ができる「京町スタイル」(学校のルール)の見直しと共通理解 <p>人権尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちや自分のよさに気付く機会を増やしていく。 ・教職員の人権意識を高めるため、研修を充実させる。 <p>共生・共育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果測定の見取り等の研修を実施し、活用を充実させていく。
2	<p>II 学びを楽しむ学校</p> <p>○子どもの主体性を育む教育活動の推進</p> <p>【校内研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士がかかわりあえる学習場面の設定 ・全学年一回の研究発表公開 <p>【キャリア在り方生き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートの活用と全学年での共有 <p>【児童会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会を全校児童がふれあえるものに ・学級目標を自分事とするための全校発表会 ・校内掲示板の活用 <p>【たてわり班活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な活動を目指し、自信をもって取り組めるたてわり班活動 <p>○学習内容の定着と求められる資質能力の育成</p> <p>【学習環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「研究テーマに沿った日常的な学習活動」 ・各学年の取組内容の保存と共有 ・教員や教育サポーターによる取り出し、入り込み指導の充実 ・専科、交換授業、少人数指導の実施 <p>【GIGAスクール構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に合ったGIGA端末の活用 ・教職員間の実践共有 	<p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学年、学級の実態に合わせた校内研究が行えた。 ◇興味を持ち、主体的に学びに向かう姿が見られた。 ◇子どもが授業に集中して取り組んだ。教材を学年で共有することができた。 ■学校全体で取り組む教材を決めていないので、教科ごとの指導法等を積み上げていくのは難しい。 ■キャリア教育の視点をもった授業実践がどこまで行われているか把握できていない。 <p>◎学級活動や委員会活動等の充実</p> <p>【児童会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇年間を通してスローガンを意識しながら活動が行い、活躍する計画委員や代表委員に対するあこがれが生まれた。 ◇委員会の仕事を責任感をもって行い、記録を継続的に保管するなど、一人ひとりが見通しを持って活動する姿がみられた。 <p>【たてわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇計画を具体的にを行うことで、内容伝達がスムーズにできるようになった。 ◇振り返りが励みになり、次の活動に生かそうという姿勢が見られた。 ◇担任に学級の子どもが姿が見えるようになり、指導に役立てることができるようになった。 <p>◎きめ細やかな学習指導、指導形態の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇取組内容を部会で共有し、後期の学習活動を定める際の参考にすることができた。 ◇取り出し学習を行った児童は、少しずつ学習を楽しみと感じられるようになってきた。 ■学年の情報を集約するだけでなくとまり、学校全体の実践につながっていない。 ■取り出し指導等ニーズに対応する人的確保。 <p>◎課題解決的な場面の意図的な設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇校外学習やゲストティーチャーを呼ぶ活動を計画し、実践した。 	<p>校内研究 学習環境整備 学習指導・指導形態の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究のテーマを見直し、子どもに身につけさせたい力等を具体的ににする。 ・研究の教科を一つにしぼり、研究の成果を積み上げることを意識して取り組む。 ・キャリア教育の視点、ねらいをおさえた授業実践の把握を行う。 ・今年度、取り組んだことをもとに、来年度は年度当初から、学校全体で実践していくことを提案する。 <p>児童会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画委員よりを基にクラスで話し合いができています。教員向けのお知らせの配布及び、校務用PCでの連絡方法を検討する。 ・委員会の種類を精査していく。 ・GIGAの活動内容によっては、保護者ボランティア等を募集する。 <p>クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会からGIGA端末を活用して学習する方法を周知・発信していく。 ・個別最適な学びに向けた学習を各教科で実践し、集約する。(実践の共有化)
3	<p>III 健康で安心な学校</p> <p>○健康や安全に対する意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を取り巻く環境に合った運動会の企画・運営 ・新しい形の水泳学習の計画・運営・指導 ・けがや事故防止に向けた環境整備 ・委員会活動を中心とした体を動かす場の設定 <p>○事件事故への適切かつ迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に実施する避難訓練や防災学習の計画立案・運営 ・関係職員の情報共有と役割分担 ・職員室と保健室の緊密な連携 ・ママメルによる情報発信 	<p>◎健康教育や安全教育等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇今後の運動会の競技案や、新たな校庭設計を行うことができた。 ◇水泳指導・管理マニュアルを作成。(保護者監視ボランティアの採用。プールカードの廃止) <p>◎体を動かす楽しさや体力向上に向けた場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇運動委員会主催の様々な体を動かすことを伴った児童集会を実施。 ■子どもたちが体力向上を意識できるような場の設定ができていない。 <p>◎けがや事故防止に向けた環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アレルギー研修・心肺蘇生法研修を実施し、教職員の共通理解をはかった。 <p>◎事件事故の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇様々なケースを想定した避難訓練を実施した。(緊急時の持ち出し用の名簿の整理) ◇校内安全点検がさらに充実してきた。 ◇関係機関との情報共有がすすんでいる。 ■防災学習は警察と連携して専門家を講師に招くなど、さらなる内容の充実が必要である。 <p>◎情報共有と「チーム」として対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇緊急事態やトラブルが発生した際の教職員の報告連絡がスムーズに行われている。 	<p>体育的行事(健康安全・体育・防犯)</p> <p>健康安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携した規則正しい生活の推進 ・保健委員会の保健目標を意識した取組の実施と、常時活動の見直し ・職員のアレルギー研修・心肺蘇生法研修は、いずれも大切な研修であるので、十分に時間をかけて、分けて実施する。(研修の効果的な分散) ・運動会の種目の精査と練習時間の短縮 <p>体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常的に体を動かす(運動)する環境づくり(例:中休み等のアリーナ開放等) <p>防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災学習を年度の早い段階で実施 ・警察用の専門家と連携した、より安全な実際の避難行動につながる訓練等の実施 <p>事件・事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる情報共有と保護者との連携
4	<p>IV ともに歩み、つながり合う学校</p> <p>○学校・家庭・地域との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学年だより等で教育活動の様子を発信 ・学校説明会、学校報告会で学校の方針や学校評価アンケートの分析結果報告 ・学校行事・授業参観・懇談会・個人面談等、年間を通して保護者や地域の方の来校の機会を計画 ・教育ネットワークによる、各学年の学習サポート ・地域清掃の取組 <p>【ふれあいまつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1部2部に分けての保護者や地域の方との交流 	<p>◎開かれた学校としての情報発信の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学校だより・学年だよりでは伝えられる限りの情報を発信することができた。 ■学校HPでの情報発信のあり方を検討し、必要がある。 ■学校説明会や学校報告会への出席者が少ないので、開催の方法を検討する必要がある。 ◇学校教育推進会議では、6年生による大要素素晴らしい実践報告ができた。 ◇教育ネットワークによる学習サポートは、京町小学校の地域力があらわれる大変ありがたい取り組みである。 <p>◎地域の方との交流や地域協力者との連携</p> <p>【ふれあいまつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇2部に参加した児童は、地域との交流をたくさんすることができた。 ■2部に参加していない児童は、交流する場が少なかった。 	<p>開かれた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童個人票等、様々なものがオンライン化されるのを機に、書面配付しなくても済むものはHP掲載に移行していく。 ○学校説明会や報告会は、期間を設けて資料や動画をHPに掲載する方法も検討していく。 ○教育ネットワークによる学習サポートは今後も連携を大切にしながら継続していく。 <p>文化的行事</p> <p>【ふれあいまつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来年度も同じように行うことで、1部から2部への流れが定着し、参加者が増えることが見込まれる。また、手紙等による周知に努める。ふれあいまつりの第1部の内容は、学習を発表する場とする。

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ・次年度へ向けて
<p>・子どもたちは困ったときや何かを伝えたいときに、サインを出している。学校の先生方は、子どもが出しているサインを見逃さないようにしてほしい。</p> <p>・子どもたちの学校での様子は、地域から見ていると「学習」も「活動」も楽しくやっているように感じている。</p> <p>・子どもたちは朝の「あいさつ」の時間よりも、学校で活動した後の、帰りの時間の方が元気になっているように感じる。</p> <p>・学校で起きる問題を、0(ゼロ)にすることは難しい。しかし学校も何かシステムを直さないといけない部分もあるのではないかと。また、子どもたちの学校での姿を、家庭でもっとしっかりと受け止める必要もあるだろう。</p> <p>・今後は、「学習サポート」だけでなく、私たち地域のメンバーが、「学習の見守り」をすることも検討したい。</p>	<p>児童と保護者のアンケート結果から、多くの子どもたちは「学校は楽しい」と感じているが、昨年度よりも肯定的な評価が少なくなっている設問も散見され、「ルール」や「学習態度」など、学校として改善していくなくてはならないことも明らかになってきた。また、学校教育推進会議からは、事件・事故等のトラブル対応について、子どもが気持ちに寄り添い、より迅速に進められるような体制づくりとともに保護者との連携についても指摘があった。保護者アンケートの自由記述では、たくさんの方に学校の取組を肯定的に評価していただくとともに、「学習環境」や「学習支援」をはじめ、「GIGA端末の活用」等についての要望やアイデアもいただいている。学校の教育活動の成果は、子どもの姿、子どもの声にあらわれていると考えている。子どもたちの学校生活がより充実するように、来年度に向けた教育活動を見直し・改善に向けて取り組んでいく。</p>